

「スパイ団」デッチ上げを許すな!!

創刊号

# 11.22通信

11.22在日韓国人留学生・青年  
不当逮捕者を救援する会  
連絡先：大阪府高槻市富田町3の7の25  
撰津富田教会  
0726-96-2562

## 11.22在日韓国人留学生・青年「スパイ団」デッチ上げを許すな!

### 「11・22Q」結成

△ 声 明 △

11月22日の韓国中央情報部の、在日韓国人留学生・青年をめぐり一連の発表は、私達日本在留の「被疑者家族」を「救援する会」の一同にとって、青天のへきれきでありました。母国へ留学している少なからぬ在日韓国人留学生・青年が、中央情報部(R.O.C.I.A.)に、9月下旬より順次連行されているとの報が、断片的にせよ、日本に入ってきたのは、10月の中頃でした。その日から拘束者の家族にとって一日として安堵する日はなく、常に暗夜のような家の中で、持っていきよらない満ちの怒りと、やり場のない悲泣に明け渡っていました。それでも、もしや早期に釈放されるのでは、という淡い望みも、11月22日の、R.O.C.I.A.の、非情なほどの苛い求を発表に全て替えてしまったのです。抑えようとして抑えられない満身の震えは一体どうすればとまるのでしょうか! いわれなき虚構の罪で、純真な息子や娘たちを、牢屋の独房に委ねた、父や母の嘆きは、一体誰が知り得るのでしょうか! 又、兄や姉、弟や妹を思い兄弟の悲憤は一体どこにぶつけたいのでしょうか!

過去、向学意欲に燃えたる純真な在日同胞の子弟たちが、母国へ留学し、母国語による教育をうけ、そのささやかな力を韓国の未来へ捧げるべく刻苦研してきたのは、天下周知の事実です。又、韓国政府の賞揚するところでもありました。その時と、現在と、どのように事態が変化したというのでしょうか!

実際、私達が調べた個々の被疑者の事実調査では、皆、真摯で、真面目に勉学に励み次代の韓国を担う立派な青年ばかりでした。何ゆえに彼らが獄舎につなされ、無実の罪を課せられ、裁かれねばならないのか。私達は理解に苦しみます。当局者の恣意的意図によって犠牲(いけにえ)の小羊になるのは、前途ある彼らにとっても、又、韓国政府にとっても、重大な損失であると思えます。そして、ここに私達「被疑者家族の会」と十三人の在日韓国人留学生・青年を「救援する会」は、昂然と(かお)をあげ、今後一致団結して、十三人の在日韓国人留学生・青年の早期釈放を、関係各方面に訴えるべく、広範な日本人たちと協力して、行動を起すものです。私たちは、それが真の韓国と日本の友情の(きずな)を強めることと確信するものです。

(連絡先) 撰津富田教会  
高槻市富田町三の七の二五  
(電話) 〇七二六一九六一二五六二

- 二一名の学生・青年は無実だ!
- 学生・青年を直ちに釈放せよ!
- 11・22Qへ圧倒的結集を!

### この間の動き

十月の中旬ごろより、在日韓国人留学生が、R.O.C.I.A.に呼び出され取調べを受けているという噂が流れ始め、関係者の間で憂慮されていたところ、十一月二二日のR.O.C.I.A.の発表が行なわれた。今回の事件は全くのデッチ上げであり、我々はR.O.C.I.A.の発表と同時に行動を起こした。以下「11・22Q」の活動を押え、この間の動きをまとめておきます。

#### 十一月

二二日・毎日新聞に最初の報道  
「九月下旬から留学生の連行が始まる。理由が全く明らかにならず、留学生の間には不安が広がる。」

二二日・R.O.C.I.A.が「学園浸透スパイ団を送検」と発表し、韓国及び日本のマスコミは大々的に報道。  
韓青同中央本部「朴政権の許しがたい暴行である」と抗議声明。

二二日・民団本部「悪いのは背後にある北だ」と声明。  
背後指導者とされた呉清連氏「全く身に覚えがない」と反論。  
被疑者家族も無実を訴える。

二五日・「11・22在日韓国人留学生・青年不当逮捕者を救援する会」を結成。  
この日記者会見を行ない直ちに行動を起すことを表明。夕方より街頭宣言開始。

● 金鉄頭氏の家族が在日韓国基督教教会館で記者会見し「何かの間違ひだ」と事実を示して無実を訴える。  
● 韓国大阪青年会議所、韓国政府と国民に向けて「謝罪と声明」を発表。

二七日・東大阪でピラまき情宣。  
二二日・初旬、各大学でピラまき情宣を始める。資料NO.1でできる。各雑誌、機関紙も取り上げ始める。

二二日・資料NO.2、NO.3でできる。  
二五日・中の島公会堂での映画「告発」会場前でピラまき、署名、カンパ活動。  
● 民団、「告発」会場前でピラまき宣伝カーで威嚇。  
● 八日・資料NO.4、NO.5でできる。  
● 九日・大阪駅頭でピラまき。  
● 「一五日に全員起訴」との情報が入る。公式発表なし。

二三日・権末子氏、東京で記者会見。「八月にR.O.C.I.A.に連行され暴行を受け、今回の発表に関して虚偽の供述を強要された。逮捕はデッチ上げである」と声明。  
二七日・東梅田教会で記者会見「全員起訴された」事実を発表し「アライバイがあり無実である」ことを訴える。  
● 大阪駅頭でピラまき。

二二日・中旬に初公判との観測を得る。  
● パンフNO.1作成に着手。  
● 九日・大阪駅頭でピラまき。  
● (年末より、京都でもピラまき情宣が始まっている。)

### カンパ要請

十一月二四日、「11・22Q」結成以来、我々は、二一名の学生・青年の早期釈放のために、関係各方面に働きかけると共に、街頭情宣等の活動を行なってきました。しかし、事態が韓国で進行する関係上、我々の救援活動は差入れず満足に行えない状態にあります。韓国の冬は寒く酷寒のソウルの夜は、令下二〇度以下まで下ります。凍てつく牢獄の中で毛布一枚にぐるまっして救援の手を待っている学生・青年の心、を考えると、我々は決してアンカンとはしておれない。  
しかも、韓国の裁判は、日本の裁判とは異なり短期決審である。第一審判決は、三月の初旬中旬に予定され、二審は、四月、大法院の判決は遅くとも、六月までには出される見通しである。  
従って、我々の救援活動は、いかに速く、日本国内の世論を作りあげるかということに、全てがかかっているといえます。  
「11・22Q」は、救援会機関紙の月一回の発行、ピラ、パンフ、資料の配布等々を通じて、今後の事態の動き及び、日本国内の救援会の活動を情宣していきたいと思っております。皆さんの御協力をお願いします。

### 会計報告

1975年度(11/25~12/31)

収入	支出
一般カンパ 4,800	ピラ印刷費用 8,380
団体カンパ 8,000	資料印刷費用 5,715
集会カンパ 13,360	事務関係費用 19,450
資料売上げ 22,562	残高 15,177
合計 48,722	合計 48,722

圧倒的カンパを!!

暗黒裁判を許すな!



去る一月二日、韓国中央情報部(KCIA)は、北のスパイ摘発に名を借りた、在日韓国人留学生・青年一三名を含む二名の無心な愛国学生・青年を不当に逮捕、送検したことを発表した。私たちが、韓国問題に関心のある日本人の有志一同と、これらK CIAの造作事件の不運な犠牲者と関わりのある日本の市民とによって、直ちに「II」を在日韓国人留学生・青年不当逮捕者を救済する会」が結成された。以来、私たちは、個々の救援会の発足に尽力すると共に、種々の宣伝方法で、これら学生・青年の早期釈放を要請すべく日本の広範な市民と様々な運動を展開してきた。そして、今回の造作事件をK CIAから委譲されたソウル地方検察庁の動向と事態の推移を注目してきたが、このほど私たち救援会が入手したソウル消息筋からの情報によると、一月二日、在日韓国人留学生・青年一三名を含む二名全員が、ソウル地方検察庁に「国家保安法」「反共法」等の違反容疑で起訴されたことが判明した。裁判は分離公判で、その内容は次の通りである。

- 金元重 (二四才)
  - 許景朝 (三三才)
  - 張永植 (二六才)
  - 蔣明玉 (二三才)
  - 姜鍾健 (二四才)
  - 金東輝 (二二才)
  - 李元二 (二三才)
  - 金三郎 (二五才)
- 担当裁判官は、許正勲裁判長以上第一、第二グループは全員在日韓国人留学生・青年である。
- ◎第三グループ(八名)
  - 金明洙 (二七才)
  - 田炳生 (二五才)
  - 金真美 (二〇才)
  - 盧承日 (二四才)
  - 羅泰賢 (二八才)
  - 朴俊洪 (二二才)
  - 金俊英 (二二才)
  - 朴明禎 (二二才)

以上は現地韓国人学生。◎第一回公判は、七六年一月中旬であるとの観測である。私たちが救援会は、この報に接して、暗たんとした気持ちとこみ上げの怒りを感じた。何よりも残された家族の心情を思うに、同情と憐憫の念を禁じえない。ここで私たちが注目するのは、一ヶ月前報道案文さえも事前にK CIAで提供するという異常なほどの熱い入れかたで、大々的な発表を宣伝したにもかかわらず、今回の起訴に際しては、通常の司法部の報道関係者への発表さえもない、極めて異例なものとなっていることである。これは、彼ら当局者が、この造作事件を闇から闇へと、隠密裡に弄り、処断を強行しようとする意図が明白である。

私たちが、この不透明な裁判が、そのまま事実審理さえも省略して性急に進められることを、深く危

- ◎第一グループ(三名)
- 白玉光 (二七才)
- 金五子 (二四才)
- 金哲頭 (二九才)
- 担当裁判官は、沈敷鐘裁判長
- ◎第二グループ(十名)
- 金鐘太 (二五才)
- 崔然淑 (二四才)

具し憂慮する。また、起訴確定日が、当初の予想よりかなり延引されたのは、K CIAのこの恣意的な造作事件に、ソウル地方検察庁が、そのあまりのデータラマに躊躇し、公判の維持が困難であると決つたためであるとの風聞が、ソウルの関係者に流布しているという事実も附記しておく。私たちが救援会は、種々の救援の運動と並行して、家族の協力のもとに、個々の被疑者に課せられた嫌疑の理非曲直を鋭意調査してきたが、その結果、容疑事実それ自体、極めて曖昧かつ不分明で、K CIAが一体どのような意図で、今回の事件を造作し、在日韓国人留学生・青年一三名を含む二名の純真な学生たちを、不法に拘束しているのか理解に苦しむ証左を得た。ここに例を挙げると、「ソウル市民の住宅事情と生活水準を報告した」とあるは「イムジン河を皆で合唱した」等が「国家機密を盗取した」というように誇大・ワイ曲化されている。背後に日韓諜報と名指された日本在住の人物の経歴や肩書きが極めて不詳で、あつたり、私たちが聴取したその証言も彼らにとつて全く身に覚えがなかつたり、接触したという人物に会つたこともなければ、名指さるも初めから該当人物が一体どこにいるのか、その所在すらも不分明で、全くの架空の人物ではないかという疑念さえ覚える。このように、不条理不明朗な容疑事実で、無実の学生・青年達を酷寒の牢獄に幽閉し、極刑を含めた重刑にすべく企図しているのは、人間性の名に於て許されざる暴挙であり、私たちが救援会は断じて容認できない。

又、不当拘束者の日本在住の家族の人たちに、彼らの諸々の弱さや事情の疎さにつけ込み、脅迫と

ドゥ喝をくり返し、人道的な私たちの救援運動に対して誤った知識を吹聴して、深い憤激の念を抑えることができない。私たちが、家族の人たちの一日として止むことのない怒りの悲泣を聞くにつけ、胸のうずきと怒りが頂点に達する。今後、私たちが救援会は、家族の人たちと連絡をして、不当逮捕拘束者に物心両面の援助をする一方、日本の市民層にとどまらず、国際的世論を喚起して、早期釈放を獲ちとり、彼らが一日も早く父母の胸に抱かれるように奮闘するものである。

一九七五年一月二七日  
II・22在日韓国人留学生・青年不当逮捕者を救済する会

逮捕された人々の紹介

- ◎「白玉光」(二七才)  
住所：大阪府東成区  
白氏は、六八年七月「北朝鮮」に渡つたとされ、背後操縦者としてデッチ上げられた「金貴雄」氏と接触し「労働党」に入党したとされている。白氏は大阪韓国青年会議所公報委員として大阪、六八年七月病氣療養の爲、実家に帰つてきた。このことが、「デッチ上げ」に最適な人物としてK CIAの毒牙にかかつたものと思われる。
- ◎「金五子」(二四才)  
住所：京都府乙訓郡  
金五子さんは、七五年一月二日「北朝鮮」に渡つたとされ、そ

の時に労働党に入党したとされている。金五子さんは、立命館大学に在学中から、家族の生計を助けるためアルバイトに追われ、入北したとされた七五年一月もアルバイトをして母国留学の学費を必死に作つていった。母国留学の希望に胸をふくらませ、釜山に留学した彼女を待つていたのは、K CIAの悪巧みな謀略であった。

- ◎「金哲頭」(二八才)  
住所：兵庫県伊丹市  
金哲頭氏は、七三年三月九日から、同五月二六日までの八十日間、「入北」し労働党に入党したとされている。そして、白氏と同様、金貴雄氏と接触し教育されたという「デッチ上げ」が、K CIAによって作り上げられていた。
- ◎「金鐘太」(二五才)  
住所：大阪府東成区  
金鐘太氏は、金貴雄氏と同様、背後操縦者としてデッチ上げられた「呉清達」氏に感化され労働党に入党したとされている。K CIAに入れば、ソウルの警察前の情報機関が、貿易会社でスパイ活動をさせていることを探知・報告したとされている。
- ◎「崔然淑」(二四才)  
住所：千葉県原市  
崔然淑さんは、「金貴雄」氏と接触し教育を受けたとされ、K CIAによれば「青年将校を包摂し軍事機密を探知収集し、彼らを革命隊列に入れるため努力せよ」と言われたということであるが、デッチ上げのネタに困まつたK CIAらしい理由づけである。
- ◎「金元重」(二四才)  
住所：東京都文京区  
K CIAの発表は、順を追って難になつていくわけであるが、金元重氏の容疑事実は、何人とも連絡を聞いていたことが、最大の理由を聞いていたとのことであるが、これだけでは「デッチ上げ」があ

まりにも困難であると思つたのかK CIAは「ソウル市民の生活水準と住宅事情」の調査等を報告したことを理由としてあげている。

◎「許景朝」(三三才)  
住所：大阪府東成区  
許景朝氏の場合は、さらに難になり、「わい曲された一般国民経済実態」を報告したということをやデッチ上げの大きな理由にしている。

- ◎「張永植」(二六才)  
住所：名古屋市中区  
張永植氏は、「政治・経済・軍事に関する国内情勢を収集報告した」とされているが、全くその内容が発表されていない。「許景朝」氏の場合は、「ソウル東大門市場の日雇労働に従事する貧民層は、バラツクの家に住んでおり、やつと延命している」にもかかわらず「酒池肉林の中で暮らす富者は、日を増すごとに肥大になつてい」といふことを報告したと実例を上げて発表しているが、「張永植」氏の場合には何も書かれていない。
- ◎「李元二」(二三才)  
住所：京都市右京区  
李元二氏の場合はほとんどひとく、「七二年四月一五日いわゆる北か」金日成親首の誕生日を迎え、釜山龍頭山公園で北方に向かって大きくおじぎをしなから、南朝鮮革命と祖国統一のため継続斗争することを盟誓する等、間諜をした者。これは、K CIAの発表原文のままである。
- ◎「姜鍾健」(二四才)  
住所：京都市右京区
- ◎「金東輝」(二四才)  
住所：大阪府東成区
- ◎「金三郎」(二五才)  
住所：大阪府生野区
- ◎「蔣明玉」(二三才)  
明玉氏は領事館員として白玉光氏に協力したと発表されている。その他、現地学生として七名がスパイ封鎖で逮捕されている。

また、起訴確定日が、当初の予想よりかなり延引されたのは、K CIAのこの恣意的な造作事件に、ソウル地方検察庁が、そのあまりのデータラマに躊躇し、公判の維持が困難であると決つたためであるとの風聞が、ソウルの関係者に流布しているという事実も附記しておく。